

令和 2 年度彦根市都市再生協議会 議事概要

◆令和 2 年 11 月 27 日（金）に本協議会を開催しました。



◆会議の流れ（委員 11 名の内、欠席 3 名（代理 1 名参加）。専門委員 1 名）

- 1 開会挨拶
- 2 彦根市のまちづくりの状況報告
 - ・平成 31 年度施策事業の進捗状況報告について
 - ・彦根駅西口駅前広場再整備計画について
 - ・居心地が良く歩きたくなるまちなかを目指して
- 3 閉会挨拶

◆主な意見等

【平成 31 年度施策事業の進捗状況報告について】

- 彦根市民会館の跡地利用では、市の意向も示していくことが重要であると考ええる。
- 観光客の増加は、交通渋滞への影響があるため、対策が必要である。また、城内駐車場のトランジットモール化は、早急な対応が必要と思われる。
- トランジットモール化は、観光面についても配慮した計画としてほしい。
- 湖東圏域地域公共交通網形成計画と立地適正化計画との調整が必要であると考ええる。
- 各目標値において、毎年度の評価と改善を示すべきである。

【彦根駅西口駅前広場再整備計画について】

- 車両動線が重なっており分離が不十分のため、課題解決されないのではないか。
- 広場整備で何をアピールポイント・まちづくりの方針とするのか、複数案で比較し決めるプロセスを踏まえた方が良いのではないか。
- 彦根駅東口の利用や民間との連携による整備計画が必要と考える。

【居心地が良く歩きたくなるまちなかを目指して】

- 彦根駅から彦根城にかけての 1 km 程度の範囲で未来ビジョンの策定を考える。
- 県道 4 車線を 2 車線にして歩行空間広げるとは、県道なので調整が難しいと思うが、ビジョンの策定により可能性が広がると思う。
- ワークショップを作ってから計画策定していくべきであると考ええる。